



学校だより

横浜市立洋光台第一小学校
www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai1/

令和6年1月31日発行

令和5年度



『思いを伝える』

児童支援専任 小野崎 浩一

5年生では、国語の「この本、おすすめします」の単元で、紹介したい学年を各クラスで決め、その学年の友達の立場になって、本の魅力が伝わるよう文章の書き方を考え工夫し、本の推薦文を書く学習をしてきました。先日、そのうちの1クラスが、1年生に向けて本の推薦文を伝えていました。実際に1年生に本を紹介する姿を見ていると、伝えたい、聞いてほしい、もっと聞きたい、もっと知りたいというそれぞれの熱い思いが教室中に広がっていました。子どもたちの姿から、「伝える」という行為は、発せられる言葉以上に自分自身が考えた過程や思いが、表情や所作に表れると改めて感じました。

「大切な物は、目では見えないんだよ。」

これは、『星の王子様』（サン＝テグジュペリ著）の一節です。5年生の伝えたい、聞きたいという思いは、まさに目では見えない大切な物ではないかと思いました。「1年生に伝わるかな」「紹介した本は喜んでもらえるか」など、何度も思いを巡らせてきたことでしょう。当日の活動だけでは、こうした思いは見えないかもしれません。ただ、思いを想像してみると、推薦文作成に込められた思い、乗り越えてきた困難など、これまでの取り組みが見えてくるようです。

「思いを伝えたい」と思えることは、学習や活動に熱中し夢中になって取り組んでいる証です。どの学級・学年も、相手意識と目的意識をもって、思いや考えを伝える学習や活動を行ったり準備をしたりしています。今の学年で身に付け、磨きをかけてきた「伝える力」を存分に発揮し、伝えたい相手に、目には見えない思いがしっかり伝わるよう取り組んでほしいと思います。そして、保護者や地域の皆様には、当日の姿はもちろんのこと、その姿から想像し、どのような思いで取り組んできたのかを味わってほしいと思います。感動も喜びも、自分たちで創りあげることのよさを知っているチーム洋一小のみんなの姿が楽しみでなりません。